

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	20	飼養環境調査、業務打合せ
需用費	2,042	餌代、ボランティア支給・貸与物品、動物用医薬品、事務用品
役務費	8	郵送料、電話料
委託料	1,000	幼齢動物診療委託
その他	73	健康管理簿の印刷製本、保険
合計	3,143	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、「岐阜県動物愛護管理推進計画」を策定し、収容した犬猫の譲渡の推進及び殺処分数の削減を位置づけている。

(2) 国・他県の状況

他県においても、動物の愛護及び管理に関する法律に基づいた業務を行っており、各県ごとに動物愛護管理推進計画を策定している。

ミルクボランティア制度を導入している自治体は令和3年7月現在で、1都21県。

(3) 後年度の財政負担

譲渡推進のため令和5年度以降も引き続き事業を行う必要があり、同程度の財政負担が発生すると見込まれる。

(4) 事業主体及びその妥当性

動物の愛護及び管理に関する法律に県の責務が規定されていることから、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業
 継続要求事業

記入しない項目欄は斜線を引いてください。

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 本事業により、令和6年までにミルクボランティアを40人育成することを目標とします。
 また、本事業を通じて離乳前の子猫の譲渡を推進することにより、令和6年度までに、保健所に収容した子猫の譲渡率70%以上にすることを目標とします。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
① ミルクボランティア育成人数	—	—	—	20人	40人	—
② 子猫の譲渡率	56%	56%	—	60%	70%	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	現在、猫の殺処分数の大半を離乳前の子猫が占めており、離乳前の子猫の譲渡推進が求められています。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	先行実施している他自治体の状況によると、本事業により猫の譲渡率が高い水準となっており、成果があると考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>ミルクボランティアを育成するため、県ホームページやSNS等を活用して、事業の周知を図ることが必要です。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>令和2年度に改定した岐阜県動物愛護管理推進計画における令和12年度に向けた新たな目標の達成に向けて、子猫の譲渡推進のために継続して実施する必要があります。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	